



市民リポーター
久慈 嵩さん

●くじ たかし
若草町在住。
室蘭市出身。元会社員。
現在、登別市シルバー人材センターの広報編集委員を務める。



ワンちゃんと暮らす

犬のしつけと飼い主のマナー

市民の取り組みで
問題解決を！

「町内会でも『フンを踏んだ』
『玄関先に尿をされた』といった
犬の飼い主のマナーの悪さが話題
にあがりますね」と話すのは、登
別本町2町会の会長加藤峯夫さん。
登別本町2町会では、ペットの
飼い主に向けたマナー啓発のチラ
シを回覧したり、『犬のふん禁止』
と書いた看板を設置したりするな
ど、積極的に飼い主のマナーの啓

朝に夕に、飼い主の
前になり、後になりして、
犬が散歩する光景は、
一見ほほ笑ましいものです。
しかし、その陰には
『犬のフン公害』が生れています。
ペットを飼うマナーの向上に
取り組んでいる方々を訪問し、
犬のしつけと飼い主のマナーに
ついてレポートします。



加藤 峯夫さん

発に努めています。
「ルールを守って犬を散歩させ
ている飼い主には不快に思われる
かもしれない。しかし、たくさ
ん苦情が寄せられる状況では、地
域住民の目にかえて看板を設置す
ることはやむを得ないでしょう。
看板の設置後は、ほとんどフンの
苦情を聞かなくなりました。市で
も広報紙で飼い主のマナーの啓



市民レポートは、市民のみな
さんが自由に発想・企画する
ページです。

飼い主のモラルが
問われています

をしています。限界があります。
ごみの分別が始まったときによ
うに、暮らしに身近な問題は、市民
が町内会などを通して積極的に取
り組むことが必要とされますね」
と加藤さんは市民の主体的な取
組みの必要性を話してくれました。

「クリンクルセンターに寄せら
れる飼い犬の苦情では、放し飼い
や鳴き声、フンの不始末など、飼
い主の管理やしつけに関わること
が多いですね」と説明するのは、
市環境資源課主査の中村健彦さん。
中村さんはクリンクルセンター



中村 健彦さん